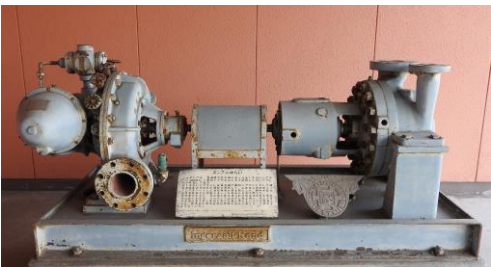


世界最初期の工業規模の低圧法ポリエチレン製造装置

登録番号	第 00286 号		
登録年月日	令和2年9月15日	登録区分	第二種

名称 (型式等)	【 世界最初期の工業規模低圧法高密度ポリエチレン製造装置 】 (1)低圧法高密度ポリエチレン重合器 (2)エチレンプラントの原料フィードポンプ (3)エチレンプラント2号機のコンプレッサー用パワーピストン
所在地	山口県玖珂郡 三井化学株式会社
所有者 (管理者)	三井化学株式会社
製作者(社)	(1)神鋼ファウドラー (2)Ingersoll-Rand (インガソール・ランド社) (3)三井-トマッセン
製作年	(1)1958年 (2)1958年 (3)1962年
初出年	(1)－ (2)－ (3)－
選定理由	本資料は日本最初の石油化学コンビナート発祥当時の低圧法ポリエチレンの製造装置（(1)重合器 (2)原料ナフサフィードポンプ (3)ガスエンジン用パワーピストン）である。チーグラー法による低圧法高密度ポリエチレン製造法は1955年にドイツの化学者チーグラーが発明したが、工業規模の製造装置としては世界でも最初期のものである。石油化学工業は米国の石油精製技術とドイツの石炭化学を中心とした有機・無機薬品や合成ゴムなどの高分子合成、人造石油の大規模合成技術をもとに発達した。日本での本格化は中東産原油から供給されるナフサを原料として誕生し、欧米諸国と時期を同じに発展してきた。本資料は日本最初の石油コンビナートで、世界で最初期にチーグラー法による低圧法高密度ポリエチレン製造を企業化した装置であり、技術の歩みを示すものとして重要である。
登録基準	ーイー（科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの） ニエロ（日本経済の発展と国際的地位の向上に一時代を画するような顕著な貢献のあったもの）

公開・非公開	公開		
写真 (1)	(2)  (3) 		
その他参考となるべき事項			